

日経 誌 済

兵庫県

2022年7月～9月

7/7 上半期 県内の倒産14.5%減

帝国データバンク神戸支店によると、県内企業の2022年上半期（1～6月）の倒産件数は、136件（前年同期比14.5%減）、負債総額は148億2100万円（同59.6%減）であった。

7/19 三宮再整備 市の施設相次ぎオープン

神戸市が進める三宮再整備として、19日、中央区役所・中央区文化センターの一体施設が市役所3号館跡地にオープンした。区役所では一部のサービスに事前予約制を導入するなど利便性を高めた。また同日、磯上公園内に体育館を開館し、近隣に分散していた体育施設を集約した。さらに26日、三宮図書館をデザイン・クリエティブセンター神戸（KITO）に仮移転した。今後整備されるバスセンターへの本移転に先立つものである。

7/21 上半期 神戸港輸出入初の5兆円超え

神戸税関が発表した2022年上半期

（1～6月）の神戸港貿易概況（速報）は、輸出入総額が前年同期比23.9%増の5兆5762億円であった。比較可能な1979年以降で半期としては初めて5兆円を超え、過去最高額を記録した。

7/29 兵庫の有効求人倍率 2年ぶり1倍超え

兵庫労働局が発表した6月の県内の有効求人倍率は、前月比0.03ポイント上昇の1.02倍となり、2020年6月以来2年ぶりに1倍を超えた。新型コロナウイルスの影響が大きかった飲食や宿泊を含め、ほぼ全業種で回復傾向がみられる。

8/3 県初、SDGs債（グリーンボンド）発行

兵庫県はSDGsの取り組みの一環として、県初のSDGs債（グリーンボンド）を発行すると発表した。機関投資家向けに10年債と20年債を100億円ずつ発行し、調達した資金を下水汚泥を利用したバイオガス事業、県施設の照明のLED化、太陽光発電設備の導入など環境問題の解決に充てる。

8/5 兵庫県内の最低賃金時給960円へ

兵庫労働局の諮問機関である兵庫地方最低賃金審議会は、今年度の最低賃金（時給）を960円と32円引き上げるよう答申した。国の審議会が示した目安額（31円）を1円上回り、全国8位の水準となった。

8/9 兵庫県の人口3万5022人減

総務省が発表した住民基本台帳に基づく人

口動態調査によると、今年1月1日時点の兵庫県の人口は54万8605人で、前年比3万5022人減（0.63%減）となった。神戸市は同9208人減であり、全国の市区の中では京都市に次いで多かった。

9/1 国際フロンティア産業メッセ 神戸で開催

9月1、2日の2日間、神戸国際展示場で西日本最大級の産業総合展示会「国際フロンティア産業メッセ2022」が開催された。「次世代モビリティ&ドローン」を特別テーマとし、自律走行ロボットやドローンなどの展示、講演のほか、内閣官房小型無人機等対策推進室と兵庫県の主催による第1回ドローンサミットも開催された。

9/13 県内企業の景況判断は「下降」超

神戸財務事務所の7～9月期の県内法人企業景況予測調査によると、全産業の景況判断指数（BSI）は、前期比3.6ポイント悪化の▲12.5と、3四半期連続で「下降」が「上昇」を上回った。

9/21 兵庫県 商業地の地価3年ぶりに上昇

兵庫県が発表した7月1日時点の基準地価によると、県内商業地の平均は前年比0.4%と3年ぶりに上昇した。神戸地域が同1.5%、東播磨地域が同0.8%といずれも2年ぶりに上昇したことが寄与した。一方、住宅地は同0.1%下落となり、昨年の下落率（0.8%）と比べて縮小した。